園名	まなびの保育園	法人名	社会福祉法人のびのび会

所在地	名護市　屋部　242番地4	入園児童数（R7.4.1現在）	0歳 2 / 1歳 6 / 2歳 4 / 3歳 5 / 4歳 3 / 5歳 0
電話番号	（0980）54－1920		
開所時間	7:00～18:00 （土曜日は18:00まで）	休園日	日曜日・祝日・年末年始・災害や警報時

保育利用時間	短時間	7:30～15:30　8:00～16:00 8:30～16:30（土曜日基本15:00まで仕事の時17:00まで）	延長保育時間	短時間	15:30～19:00 （土曜日はなし）
	標準時間	7:00～18:00（土曜日基本15:00まで仕事の時17:00まで）		標準時間	18:00～19:00 （土曜日はなし）

保育対策事業	一時預かり	×	地域子育て支援拠点	×
	障がい児保育	×	休日保育	×

保育目標

・心身ともに健康な子　・遊び上手な子　・地域や自然に親しむ子ども
・創意工夫する子ども　・思いやりのある子　・国際性（感覚・感受性）豊かな子

保育指針

家庭保育の補完を行い、子どもの健康と安全に留意しながら、情緒の安定した生活ができるような環境を提供する。
職員は、養護と教育が一体となって行われるよう、様々な分野で見聞を広め、保護者と協力しながら子供の成長を促す。

一日の流れ

3歳児未満 短時間		3歳児未満 標準時間		3歳児以上 短時間		3歳児以上 標準時間	
7:00	・登園 ・検温 申受け＝申送り 諸準備 ・自由遊び	7:00	・登園 ・検温 申受け＝申送り 諸準備 ・自由遊び	7:00	・登園 ・検温 申受け＝申送り 諸準備 ・お掃除活動／自由遊び	7:00	・登園 ・検温 申受け＝申送り 諸準備 ・お掃除活動／自由遊び
9:00	・朝の会	9:00	・朝の会	9:00	・朝の会	9:00	・朝の会
10:15～11:30	・食事準備 ・食事 ・片づけ	10:15～11:30	・食事準備 ・食事 ・片づけ	10:45～11:40	・食事準備 ・食事 ・片づけ	10:45～11:40	・食事準備 ・食事 ・片づけ
11:30～11:45	・排泄 ・沐浴／お着替え ・読み聞かせ	11:30～11:45	・排泄 ・沐浴／お着替え ・読み聞かせ	11:30～11:45	・排泄 ・シャワー／お着替え ・読み聞かせ	11:30～11:45	・排泄 ・シャワー／お着替え ・読み聞かせ
12:00	・午睡	12:00	・午睡	12:00	・午睡	12:00	・午睡
13:15～	・おやつ ・お着替え ・自由遊び ・降園準備 ・帰りの会	13:15～	・おやつ ・お着替え ・自由遊び ・降園準備 ・帰りの会	13:15～	・おやつ ・お着替え ・自由遊びorお稽古 ・降園準備 ・帰りの会	13:15～	・おやつ ・お着替え ・自由遊びorお稽古 ・降園準備 ・帰りの会
1600	・順次降園 ・延長保育開始	16:00	・降園準備 ・自由遊び ・順次降園 ・延長保育開始	16:00	・順次降園 ・延長保育開始	16:00	・降園準備 ・自由遊び ・順次降園 ・延長保育開始
19:00	・延長保育終了 ・閉園	19:00	・延長保育終了 ・閉園	19:00	・延長保育終了 ・閉園	19:00	・延長保育終了 ・閉園

主な行事（◎は保護者参加）

4月	進級式 ／◎入園式／お弁当会／防災避難訓練／内科検診／個人面談 ●職員研修	8月	防災避難訓練／お弁当会／水遊び ●職員研修	12月	弁当会／防災避難訓練 X' mas子ども会 ◎発表会・親子制作 ●職員研修
5月	弁当会／防災避難訓練 歯科検診／個人面談 4･5生まれの誕生会 ／尿・ギョウ虫検査 ●職員研修	9月	弁当会／防災避難訓練 8･9月生まれ誕生会 ●職員研修	1月	弁当会／防災避難訓練 12･1月生まれ誕生会 ●職員研修
6月	お弁当会/防災避難訓練 /個人面談 ●職員研修	10月	弁当会／防災避難訓練 交通安全指導／尿・ギョウ虫検査 館内消毒(害虫駆除)／ハロウィン ●職員研修	2月	弁当会／防災避難訓練 ◎豆まき会 ●職員研修
7月	防災避難訓練／お弁当会 ／6・7月生まれ誕生会／水遊び ●職員研修	11月	弁当会／防災避難訓練 10･11月生まれ誕生会 歯科検診／内科検診 ◎親子で運動する会 ●職員研修	3月	弁当会／防災避難訓練 2･3月生まれ誕生会／ひな祭り会 修了式 ◎卒園式 ●職員研修

※その他、毎月の誕生会、避難訓練、身体測定、世代間交流も予定しています。

主な費用

延長保育料　300円/1時間	主食費　900円/月（名護市主食費の助成がある期間免除とする）	その他　必要時

園の特徴

子どもたち一人ひとりが健康で元気に登園できるように、職員と家庭がよりよく連携を組む体勢つくり、年齢の枠を超えた異年齢保育を軸とし、大人も子どもも、みんなで学びあう心を育む場である保育園を目指しています。
日常保育では、子どもの繋がり、年上の子が年下の子を思いやり、かわいがれる関わりができるように環境作りに努めています。職員は、子どもたちがスムーズに活動できるように、保育計画を行い、全職員が情報を共有し、報・連・相を行い、家庭には情報提供と積極的な保育協力を呼び掛けるように心がけています。
保育園は、子どもを預る役割だけでなく、家庭と上手に協力を図り、保護者には、子育てに時間がかかる時期ほどしっかり手をかけてあげる事を伝え、子育て＆子育ちに、より多くの時間を費やしていただきたいと、強く望んでおります。

備考